

1 題材 豊かな表現をめざして

2 目標

- 歌詞の内容に関心をもち、曲想を感じ取って意欲的に歌唱表現しようとする。
- 歌詞の言葉の表現も大切にしながら歌い方を工夫することができる。
- 曲想を生かした表現の工夫をしながら演奏することができる。
- 楽曲の特徴から曲の表す情景、イメージを様々に広げて聴くことができる。

3 指導観

- 本題材は、歌詞の表す情景や気持ち想像したり、歌詞の内容や楽曲の構成にふさわしい表現を工夫したりすることをねらいとして設定したものである。

高学年は内面的な成長が著しく、音楽の美しさに対するあこがれや探究心が高まってくる時期である。そこで、この時期は曲想にふさわしい演奏ができるように歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、歌詞の内容や楽曲の構成にふさわしい表現の仕方、表現豊かに演奏することが大切になってくる。

そこで、曲の表す情景を想像し、曲想を生かして表情豊かに表現できるようにするために歌唱表現や奏法について工夫しながら歌ったり楽器を演奏したりする学習を設定した。

ここで取り扱う教材「語りあおう」はミュージカルの挿入歌で歌詞の表す気持ちが子どもにとってわかりやすく、歌詞の意味を考えた表現の工夫がしやすい曲である。また、二部合唱の形式や楽器のパートが含まれており、重なり合うふしの美しさを感じ取りやすい曲であり、曲想表現の工夫への意欲を高めていくのに適している。また、歌唱教材「ふるさと」は故郷への思いやその情景を表した楽曲として多くの人に親しまれてきた曲で、子どもになじみやすい曲である。また、歌詞の内容や楽曲の構成にふさわしい表現の仕方を追究していくのに適している。

このような学習を行うことは、歌詞の表す情景や気持ちを想像し、曲想を生かした表現の工夫をしていながら、音楽表現を楽しむ心情を育てていく上で意義深い。

- 子どもはこれまでに、「つばさをください」や「おぼろ月夜」で歌詞の内容に合うように歌唱表現をする活動をとおり、歌詞にこめられた気持ちや情景を想像して表現する活動を行ってきた。しかし、曲の梯子を際立たせた歌い方や演奏の仕方、表現することはこれからの学習によるところが大きい。本学級の子どもは、音楽の学習に意欲的に取り組んでいる。特に合奏に高い関心をもっているが月の歌の練習などきれいな声で楽しく歌おうとする姿勢も見られる。学習の進め方についてはグループで協力しながら、自分たちの思いを表すための話し合い活動に積極的に参加しようとする子どもが増えてきた。しかし、歌詞や曲想表現などに気を付けながら、表現を深めることに関しては、これからの学習によるところが大きい。

- そこで本教材の指導にあたっては言葉を大切にしながら楽曲に込められた思いや情景を感じ取って歌うようにすることで、より豊かな音楽表現への意欲が高まるようにする。

まず、導入では教材曲を全監賞し、歌詞にこめられた思いを感じ取る活動をとおり、楽曲にあわせた歌い方の工夫について関心をもつようにし、題材のねらいをつかむようにする。

展開では、歌詞の内容を味わい、歌詞にこめられた思いや情景を考え、話し合う活動をとおり表情豊かに歌うことができるようにする。また、曲想にあわせた演奏ができるように強弱のつけ方や音色などの表現を工夫できるようにする。

まとめでは、グループごとに曲を選択し、それぞれが豊かな表現をめざして演奏を工夫し、発表し合う場を設定する。そこで互いの曲想表現の工夫を聴き合い、今後の音楽活動への意欲が高まるようにする。

4 教材

- 「語りあおう」(劇団四季文芸部作詞 金令木 邦彦作曲 4分の4拍子 ハ長調)
- 「ふるさと」(高野辰之作詞 岡崎真一作曲 4分の3拍子 ハ長調)

5 指導計画

- (1) 教材曲を全監賞し、「豊かな表現をめざして」への活動の思いをふくらませ、題材のめあてをつかむ。 _____ | 時間
- (2) 歌詞にこめられた思いや情景を想像しながら表現の工夫に取り組む。 _____ 6 時間
 - 情景や歌詞の意味を考えた表現の工夫(前半) ----- 3
 - 情景や歌詞の意味を考えた表現の工夫(後半) ----- 3 (本時1/3)
- (3) 発表会を行い、お互いの曲想表現のよさを聴き合う。 _____ 2 時間

6 本時の目標

- 歌詞の内容を味わい、情景を思い浮かべながら歌うことができる。

7 指導過程

学習内容及び学習活動	指導上の留意点	資料準備
(1) 本時学習について話し合う。 ○ 前時のふりかえり ・「語りあおうの歌唱 ○ 本時の学習について ・「ふるさと」の鑑賞 ○ 本時のめあて 「ふるさと」の歌詞を理解して歌おう。	○ 歌詞を大切にしながら歌うことで歌詞を理解して歌うことへの意識付けを行い、本時学習への関心が高まるようにする。 ○ 「ふるさと」を鑑賞し子どもが曲のイメージや歌詞の内容を握握できるようにする。 ○ めあての設定はできるだけ子どもの意見を取り入れながら設定することで主体的に取り組めるようにする。 ○ 活動の流れを確認することによって一人一人が見通しをもって活動することができるようにする。	CD CDプレイヤー
(2) 学習の進め方について話し合う。 ○ 学習の進め方 ・「ふるさと」の音程取り ・歌詞の意味 ○ 時間配分	○ 写真や絵を効果的に見せることでより歌詞への理解を深められるようにする。	学習プリント 絵、写真
(3) 「ふるさと」の音程を取り、歌詞の内容を理解する。 ○ 「ふるさと」の音程取り ○ 歌詞にポイントをおいた話し合い活動	○ 「夢」や「志」が何を指すのか考えることでより歌詞への理解が深められるようにする。	
(4) ふるさとの情景を想像しながら歌う。 ○ 「ふるさと」の歌唱 ○ 想像した情景の発表	○ どんな情景を想像したか発表しあい、より歌詞へのイメージがふくらむようにする。	
(5) 学習をふりかえり、まとめる。 ○ 学習のふりかえり ○ 次時の学習の見通し	○ 本時の学習をふりかえり、子どもの取組について賞賛しながら、自分たちの活動について満足感がもてるようにする。 ○ 次時の活動を知らることで、見通しがもてるようにする。	